

# REPORT

## SEMINAR FOR WOMEN

～開催結果報告～

2026 Vol.1

「女性のためのものづくり仕事セミナー」

令和8年**5月20**日(水) 9:15～12:00

ポリテクセンター山梨／甲府市中小河原町403-1

Model : POLYTECH Supporter  
Free Announcer MIKA MIURA

**POLYTECH**  
CENTER

### 開催結果

参加者数▶ **15** 名

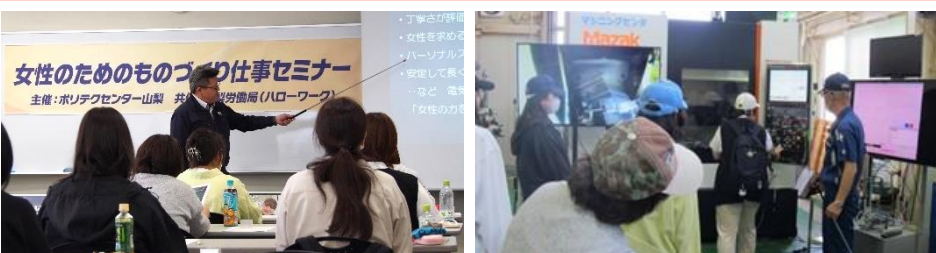
内 容▶ キックオフ講話

「ものづくり業界で働くキャリアを自分で設計するために!!」

訓練実習場見学

ポリテク女性修了生の経験講話

ポリテク女性修了生と参加者による座談会



次回の「女性のためのものづくり仕事セミナー」は、

令和8年**11月11**日(水) 9:15～  
を予定しております!!

主催：山梨職業能力開発促進センター（ポリテクセンター山梨） 訓練課 TEL.055-242-3066  
共催：山梨労働局（ハローワーク）



元村 麻里 講師

- ◆ トヨタホーム (株)
- ◆ R6.12 金属加工科 入所

結婚・引っ越しを機に前職を退職し、以前から興味があったものづくり分野への転職を決意。希望の通勤範囲内に工場が多いため、工場勤務の求人を探していた。男性の仕事という印象はあるが、気後れせず納得して前へ進みたいという思いから訓練受講を希望し、体験講習をはじめポリテクの各種イベントに参加。そこで、手を動かして何かを作り出す事が好きだと改めて気づき入所。現勤務先は企業説明会をきっかけに知り、工場見学を経て入社。3事業所ある中、溶接工程で女性が従事するのは同社内初。仕事内容は、住宅等の鉄骨溶接。重量物を扱うが持てないほどではなく、不便な点があれば改善を要望できる環境。女性雇用の増加を目指し、設備や環境の整備・改善に歓迎的な企業が多いため、興味を持った分野があれば躊躇せず進んでほしい。

前職は、カメラマン。退職後は、大学で専攻していた保育系への道も考えたが、今のうちにできることをやりたいと思い、別の分野を検討。そんな中、ポリテクへ通っていた知人の話を聞き、訓練への興味が沸いた。体験講習で建築CADに触れ楽しいと感じたことと、インテリア関連を学んでみたいと思ったことが決め手となり入所。入所当時のクラスは、女性が多く年齢層も幅広かったがみんな仲が良く、和気あいあいとした楽しい6か月間だった。現職は、建築系事務。パソコン未経験に対するフォロー体制がしっかりしている点に魅力を感じ、就職。建築の知識は必須となるが、わからない事があれば気軽に相談できる環境。何気なく建築の道に進んだが、現在は楽しく仕事をしている。もし悩んでいるなら、思い切って訓練を受けてみるのもありだと思う。



小泉 璃子 講師

- ◆ (株) いえプロ
- ◆ R7.1 建築CADサービス科 入所



木野 郁美 講師

- ◆ 中楯電気 (株)
- ◆ R6.1 電気設備技術科 入所

前職は、服飾関係の販売営業。山梨への移住に伴い中古物件を購入。電気工事士の資格を取得し、自分で修繕しながら暮らしたいと思い立ったところ、ポリテクに辿り着き入所。最初は周囲に馴染めるか不安だったが、工具を握って一緒に同じ課題に向き合ううちに性別・年齢を問わず仲良くなった。同じ目標に向かって前進できる仲間に出会えたことが、訓練を継続できた最大の理由。就職活動では、就職支援アドバイザーと並走しーから自分のキャリアを見直しながら進めた。現在は、公共施設の電話交換機工事を主とし、幅広い業務を担当。前職の経験を活かしつつ、営業ができる技術者として働くスタイルを確立でき、やりがいを感じている。ポリテクは技術を学べるだけでなく、未来と一緒に考えてくれる心強い環境が整っているため、自分を信じて一歩踏み出し、新しい世界へチャレンジしてほしい。

## Play Back 座談会

Q 日々のお仕事の中で思わずガッツポーズをとりたくなる瞬間は？

▶ A. (元村講師) 溶接の仕事は、ミリ単位の精度が求められる。角度・寸法とともに正確で、本体にピタッとハマった際に「よっしゃー！」と思う。仕事上当たり前なことだが、自分の成長を少しずつ実感できる。

Q 機械音痴でパソコン作業がついていけないか不安…。

▶ A. (小泉講師) クラスの中にも、電源の入れ方がわからないなど、苦手な人は結構いた。人数が多かったため隣同士で教え合うほか、先生からも教えてもらった。できなくてもなんとかなる。

Q まだ子どもが小さく、働き方やどのような仕事に就くか考え中。子育てしながら働くのは大変？

▶ A. (木野講師) 職場の女性の先輩は、ポリテクの同じ科出身で現在パート勤務。お子様が小学生のため、学校の行事関係で休むことや時短勤務もある。会社が配慮してくれて、9時から17時勤務。女性が働きやすいようフォロー体制がしっかりしている。会社にもよるが、仕事と家庭の両立はできなくはないと思う。

Q ものづくり業界で働く女性は増えているが、やはり男性の方がまだ多いと思う。働く中、性別の面で困ることはある？

▶ A. (木野講師) 私の職場はほぼ男性。ベテランの職人さんから少し厳しい言葉を受けることもあるが、逆に女性だから優しくしてもらえる部分もある。工事現場で困ることはトイレ問題。少し気を遣うところではある。

Q ものづくり業界に向いていない人のタイプは？

▶ A. (元村講師) 体が弱い方は、心配に感じる。職場には20代から60代の方までいるが、溶接の関係上、工場内で風を強く起こすことができないため、熱中症には注意。体調管理が大事。

Q 年齢が高くても就職できるか？

▶ A. (小泉講師) クラスの中に年齢の高い方はいたが、大半の方が就職していた。建築関係に進む人もいれば、私のように事務系や別業界に就職する人もいた。私の場合、業務上現場に行くことはあるが、物を運ぶ作業はない。室内で働ける仕事もあるため、就職先候補として探してみてもどうか。

## 参加者の声

3人の方のそれぞれのきっかけや訓練、訓練後の仕事に就くまでのこと、いろいろ聞けてとても良かった。

色々な職種で、女性が働いていて興味深かった。

いつも通り過ぎていたセンターの中へセミナーを通じて入る、見る・知る機会があり良かったです。

女性でもできる！と思えた。

本音を聞くことができて良かったです。

現場の声が聞けて良かったです。私もやってみたいと思いました。

訓練・就職後、自信にあふれている姿が素敵でした。

VOICE